

子どもの本だな 74

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

### くんちゃんといゆのパーティー

ドロシー・マリノ さく あらい ゆうこ やく  
(ペンギン社)

ある日、雪がつもりました。こぐまのくんちゃんは、小鳥のために食べ物を入れたかごをもみの木に下げ、うさぎやりすには雪の上に食べ物をおいてやりました。こんどは、家の中に小さなもみの木をたて、赤いツルコケモモの実と星やクマの形のクッキーを焼いてかざりました。雪まみれになって帰ってきたお父さんは喜んで、くんちゃんにプレゼントをくれました。

白の背景に冬の景色を線画で表し、上に重ねた赤色は暖かみを感じさせます。子どもたちはくんちゃんといっしょに冬の一日を楽しみます。読んでもらえば4歳くらいから。

(西村)



### ヤマネコ号の冒険 ランサム・サーガ3

アーサー・ランサム 作 神宮 輝夫 訳 (岩波書店)

ウォーカー家の4人きょうだいは、ブラケット姉妹と一緒に、フリント船長の緑色の小さな帆船ヤマネコ号で、初めて航海に出ました。老練な船乗りピーター・ダックから、昔海賊たちが、カニ島で何か四角い物を埋めるのを見たという話を聞いて、みんなは宝に違いないと心躍らせます。ところが、その宝を狙って、海賊ブラック・ジェイクが黒い帆船マムシ号で追いかけてきました。執拗に迫るマムシ号を濃霧の中で振りきったヤマネコ号は、大西洋を突き進み、カリブ海にあるカニ島へ先回りしました。

宝探しの最中にカニ島を襲った暴風と地震、マムシ号の襲来、竜巻との遭遇など、次々に起こる大きな危機を、ジョンたちは力を合わせて乗り越えます。宝を手に入れ、帰路に着くまでの大航海を、子どもたちと共に体験できるでしょう。11歳くらいから。

(池之上)

12月	1月	12・1月の移動図書館 (いずれも木曜日です)				
5日	9日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
12日	16日			原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
19日	23日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~15:50	吉福 公民館 16:00~16:30

### <お知らせ>

#### クリスマス

#### 特別おはなしの時間

ろうそくの灯りのもと、おはなしや絵本を楽しみます。

・日時：12月21日(土)

① 4才~大人  
11:00~11:30

② 小学3年生~大人  
11:30~12:00

※大人の方も入れます。

※途中からは入れませんので、時間までにお越しください。

『母なるひとびと ありのままのアイランド』 アリス・テイラー 著

高橋 歩 訳 未知谷 239 頁 2019 年 9 月刊 2,500 円 (請求記号) F テイ

本書は、15 人のアイランド女性女性の人生を取り上げたエッセイである。1800 年代後半の生まれだろう著者の祖母、著者が幼い頃村にやってきた旅暮らしの一家、修道女等々。著者の生活に近い存在の記憶から、その暮らしに興味をもち話を聞きとった人の生活、生き方が語られる。

若くして未亡人になり、農場を引き継いだ著者の祖母は、当時は男の仕事とされた豚の屠殺もひるむことなく手をつけた。いい働き手を雇い、育て、やはり男しか入れない市場での取引を自宅に居ながら操った。ベッドに入る前には、出窓にろうそくが一本灯される。出窓から見える牧草地の様子を語る祖母の声は優しく幼い著者に響く。そして、暖炉脇の柱時計のねじ巻を終えると、脱衣の儀式が始まり、幼い著者は鉄製の丈の高いベッドから興味津々でその様子を見守る。黒いボンネット、黒いクロツシエレースのケープ、ベルベットのブラウス、長袖の下着、半袖の下着、クジラのひげのクルセツト…。母親の章には、水も電気もない農場の暮らしが紹介してあるが、休む時間などないような日々の仕事をこの服装でこなしていたのかと驚く。

アイランド北西のアキル島に住む 94 歳の女性は、スコットランドでジャガイモ掘りの出稼があったこと、兄弟がフィドルを引くと海からヒューヒューと音がして、アザラシが集まってきたこと、家畜の糞と海藻で苗床をつくったことなど、島の習慣が語られる。

どのエッセイからも 1800 年代終わりから 1900 年代半ばの暮らしの厳しさがうかがえるが、著者の映し出す人物が前向きに進む姿にすがすがしさを、生活ぶりに温かみを感じる。

(竹内)

12月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	<del>3</del>	4	5	6	7
8	9	<del>10</del>	11	12	13	14
15	16	<del>17</del>	18	19	20	21
22	23	<del>24</del>	<del>25</del>	<del>26</del>	27	28
<del>29</del>	<del>30</del>	<del>31</del>	年末年始の休館日 12/29~1/3			

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			<del>1</del>	<del>2</del>	<del>3</del>	4
5	6	<del>7</del>	8	9	10	11
12	13	<del>14</del>	<del>15</del>	16	17	18
19	20	<del>21</del>	22	23	24	25
26	27	<del>28</del>	29	30	<b>31</b>	

\* カレンダーの×印は休館日 \*    は館内整理日、返却のみ受付 (10:00~17:00)

\* 開館時間は 10:00~18:00、金曜日は 20:00 まで開館

※ 12/25~26 は、システム保守のため臨時休館します。

< 休館のお知らせ >

① システム保守のため臨時休館します。ご迷惑をおかけしますがご理解ください。

・ 臨時休館日:

**12月25日(水)・26日(木)**

※ 12月28日(土)は館内整理日の予定でしたが開館します。

② 年末年始のため休館します。

・ 休館日:

**12月29日(日)~  
2020年1月3日(金)**

※ 年始は 1月4日(土)から、通常通り開館します。

地下水

今年も残すところ 1ヶ月となった。11 月から急に寒くなったかと思うと、日が落ちるのも早くなり、17 時を過ぎる頃には夜の帳が下りている。冬の気配が一段と濃くなる 1 カ月であったが、図書館は熱気に包まれていた。その理由は恐竜である。

11 月 17 日に開催された「恐竜あすかイチ」にあわせて図書館では、恐竜に関する図書の特別展示や恐竜検定を行った。他にも 10 日から 24 日までの毎週日曜日にイベントを実施した。10 日には「ぎょうりゅう工作教室」を開き、子どもと一緒に石粉粘土で恐竜のバツジを作った。17 日には人と自然の博物館の主任研究員である池田忠広さんを講師にお招きして、恐竜と化石の講演会を行った。24 日には「化石づくり教室」を開催して、紙粘土で化石のストラップ作りを楽しんだ。

イベントの甲斐があつてか、子どもから大人まで多くの方に恐竜の本を借りていただいた。こうした活動が、子どもの好奇心を育み、図書館や本につながるきっかけになればいいと思う。

(光藤)

